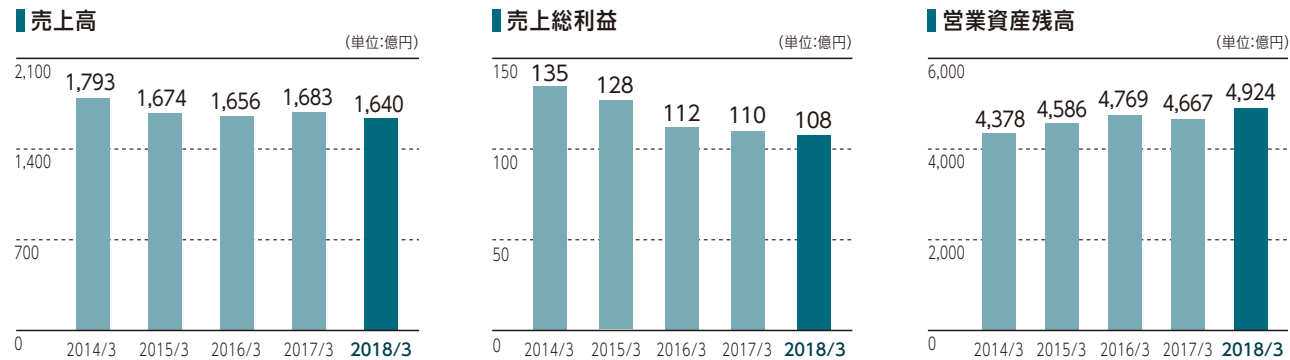


事業セグメント別の概要

賃貸・割賦事業

情報・事務用機器、産業・土木・建設機械等の
賃貸(リース・レンタル)及び割賦販売業務等

売上総利益構成比
37%



事業の概要と特徴

リースは、お客様の設備投資における資金ニーズに対して、リース会社が代わりに設備を購入してお客様に長期間賃貸する事業です。リース活用によって、お客様は設備投資のための資金準備や所有に伴う費用及び事務工数等が軽減され、ビジネス効率の向上が期待できます。また、リースされた製品は必ず返却・3R(リユース、リデュース、リサイクル)処理されることから、資源循環型社会に貢献するサービスであると考えています。

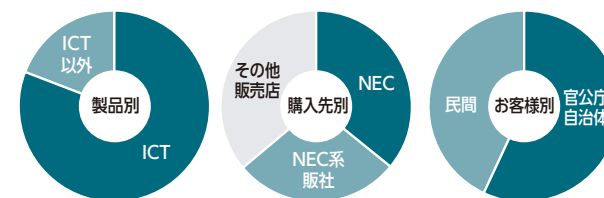
一方、割賦販売はお客様の設備投資における資金ニーズや設備所有ニーズに対して、お客様に代わって当社が設備を購入し、お客様へ販売する事業です。購入代金や金利等は分割で回収します。

当社は、さまざまな種類の設備についてリースを提供していますが、中でもNECの販売促進のための金融会社として歩んできた経緯から、当社のリース契約実行高に占めるICT製品割合は約7~8割と高くなっています。また、3分の2近くはNECやNEC系販社からのものとなっています。NEC製品について

は、メンテナンスリースやベンダー・ファイナンス・プログラム等、NECの製品・サービスと組み合わせたメーカー系リース会社らしいリースを提供しています。また、6割以上のお客様は官公庁・自治体であり、優良な顧客基盤を有する点も当社の特徴です。

近年は、取り扱う営業資産の多様化を進めており、太陽光パネル等のエネルギー関連設備、建物、航空機等にも取り組んでいます。

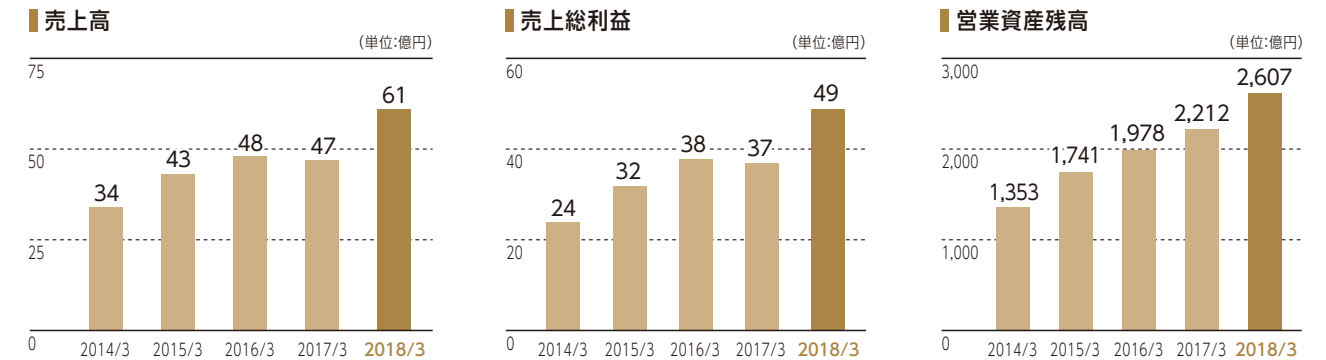
【契約実行高に占める割合イメージ】



ファイナンス事業

金銭の貸付業務、ファクタリング業務及び
営業目的の収益を得るために所有する有価証券の投資業務等

売上総利益構成比
17%



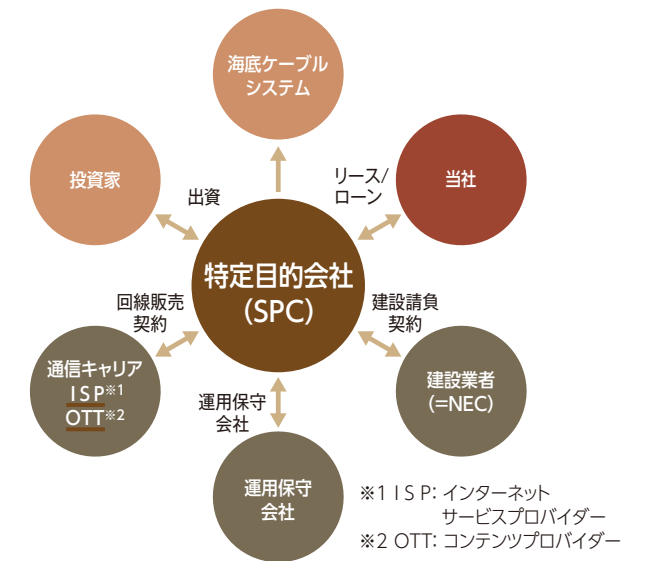
事業の概要と特徴

ファイナンス事業には、主に「金銭の貸付」や「ファクタリング」が含まれます。これらは新規のお客様を当社主力の賃貸・割賦事業に結び付けるための「きっかけづくり」としての役割も担っています。金銭の貸付は、企業のお客様とその取引先に対する「各種債権流動化プログラムの提供」や「設備投資向けストラクチャード・ファイナンス・スキームの組成や提供」等を行う事業です。プロジェクトに対して貸付を行うプロジェクトファイナンスにおいては、プロジェクトのために設立された特別目的会社(SPC)に貸付する他、出資することで資金提供することもあります(後者の場合、会計上は有価証券の投資という表現になります)。

またファクタリングは、売掛金の早期回収を実現することでお客様の資金調達負担を軽減するサービスです。

賃貸・割賦事業では、リース物件代金に金利手数料等を加えた「リース料」が売上高に計上されますが、ファイナンス事業では、金利手数料のみが売上高に計上されます。このため、賃貸・割賦事業とファイナンス事業の売上高には極端な差がありますが、売上総利益ベースでは全体の17%をファイナンス事業が構成しています。

【プロジェクトファイナンス組成例】
-下記TOPICS海底ケーブルプロジェクトの場合



TOPICS 日本・グアム・オーストラリアを結ぶ光海底ケーブルプロジェクト向けシンジケートローンを組成

当社は、2018年4月に日本・グアム・オーストラリアを結ぶ大容量光海底ケーブルプロジェクト向けシンジケートローンをリードアレンジャーとして組成しました。JGAは、当該地域を結ぶ海底ケーブルシステムの建設・運用をするもので、株式会社海外通信・放送・郵政事業支援機構(略称、「JICT」)やNEC他が出資しています。拡大の一途を辿る国際通信は、その大半を海底ケーブルで賄っ

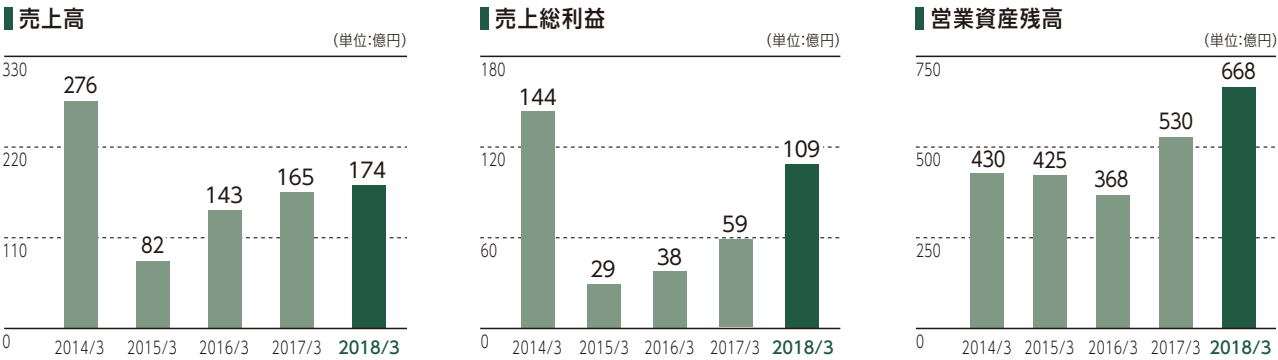
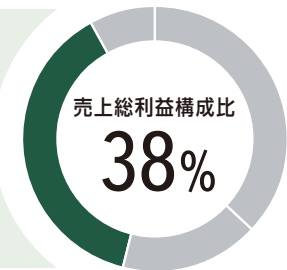
ており、海底ケーブルは今日のデジタル社会に不可欠な通信インフラとなっています。本件は、金融サービスを通して、海外における社会インフラの拡充に貢献するものとして、グループビジョン実現に向けた好事例であると考えています。

→詳しくは2018年4月4日プレスリリース「日本・グアム・オーストラリアを結ぶ光海底ケーブルプロジェクト向けシンジケートローン組成のお知らせ」をご覧ください。

事業セグメント別の概要

リサ事業

株式会社リサ・パートナーズが行っている企業投資、
債権投資、不動産、ファイナンス及びアドバイザリー業務



事業の概要と特徴

当社は、金融サービスの多様化を目的に、2010年に株式会社リサ・パートナーズ(以下「リサ」)を子会社化しました。リサは、主に金融法人向けに軸足を置いて営業活動を展開してきた経緯から、全国180を超える地域金融機関とのネットワークを有しており、官公庁・自治体や事業法人サイドからアプローチする当社とは異なる顧客基盤を保有しています。金融法人のお客様の立場から、地域企業等が抱える経営課題に対し、資金面で支援する「投融資」と、金融・不動産等の専門的見地から助言する「アドバイザリー」の両面から、解決策を提供しています。

リサには、幅広い分野のプロフェッショナルが集結しており、事業成長支援から資本効率改善、債権の健全化や不動産の有効活用まで、お客様のさまざまな経営課題・ニーズに対して、ワンストップで多面的な機能・サービスの提供を可能としています。なお、決算においては、次の3区分で報告しています。

	機能・サービス
アセットビジネス	リサ・コーポレート・ソリューション・ファンド 観光活性化マザーファンド
不動産	企業不動産関連の建て替え支援、有効活用、 出店およびファンド構想のサポート
アドバイザリー	企業再生・成長支援等のアドバイザリー

リサが持つ「機能」と「ノウハウ」



全国に広がるネットワークを駆使して、お客様に最適な解決策を提供

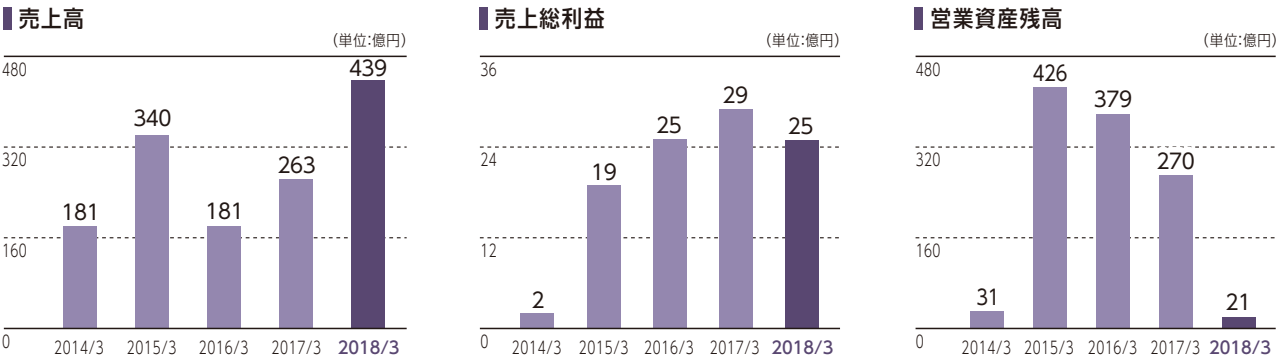
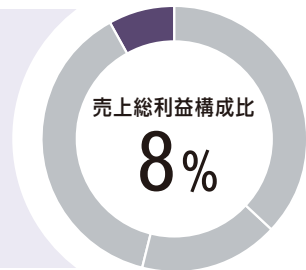
TOPICS 四国4県における官民一体型中小企業再生ファンド組成

リサは、2018年3月に中小企業基盤整備機構、四国4県の地域金融機関、および信用保証協会と共に、四国内の中小企業の再生支援と地域経済活性化や雇用維持の取り組みの一環として、「しこく中小企業支援ファンド」を組成しました。リサは日本各地で同様の取り組みを行っており、今回は18件目の「官民一体型中小企業再生ファンド」となります。

本ファンドは、当該地域の中小企業の再生を支援するため、中小企業の金銭債権や株式等を中長期的に保有し、継続的かつきめ細かい経営支援等を行います。企業再生業務にあたっては、四国内の中小企業再生支援協議会と密接に連携し、四国内の信用保証協会にも協力をいただきながら、的確に進めていきます。

その他の事業

物品売買、賃貸取引の満了・中途解約に伴う物件売却、
手数料取引業務、ヘルスケア関連業務及び太陽光発電売電業務等



事業の概要と特徴

このセグメントには、賃貸・割賦事業、ファイナンス事業、リサ事業に含まれない事業が計上されます。主に、当社が保有するリース満了・中途解約物件を売却する中古品売買やストラクチャードファイナンス組成等の手数料、保守料回収の手数料、お客様の債権管理に関する業務効率化やアウトソーシングニーズに対する業務代行サービス等があります。また、CSV経営実現を推進する中で新たに取り組んでいるヘルスケア事業、エネルギー事業もこのセグメントに含まれます。

の提案書作成等を行っています。2018年3月期までに、学校施設や文化施設等、累計22件の事業に携わりました。

ヘルスケア事業

投資家から募った資金をヘルスケア施設に特化して投資する不動産投資信託証券「ヘルスケアREIT」を中心に展開しているものです。出資先からの配当収入の他、ヘルスケア施設からの賃料、ヘルスケア施設の売買収益等が計上されます。

エネルギー事業

SPC(特定目的会社)を通した太陽光発電事業の他、地域新電力会社の運営、電力の買い取り及び販売を行います。

PFI 関連事業

PFI(Private Finance Initiative)は、民間の資金、経営能力及び技術能力を活用して公共施設等の建設、維持管理、運営等を行う官民連携事業です。賃貸・割賦事業で培った官公庁・自治体の顧客基盤を背景に、PFI事業を推進しています。当社は、金融サービス会社としてプロジェクトに参加し、事業に最適なストラクチャーの構築や、低利な資金調達の支援、官公庁・自治体へ

TOPICS リース満了品の中古販売

当社は、賃貸・割賦事業におけるICT機器の取扱比率が高いことから、「キャピテック&リポートテクノロジーサービス株式会社」を設立し、リース契約終了後のICT機器を中古売買する体制を整備しています。100%子会社である同社では、厳格な検査・データ消去作業を施した後、月間数千台規模で国内外に販売しています。当社からの安定的な中古ICT機器の供給を背景に、国内に

おける豊富な販売チャネルに加え、海外への直接輸出版売を行っています。ISO9001や14001、27001の認証を取得しており、国内最高のICTライフ・サイクル・サービスの提供を目指して取り組んでいます。

→ 詳しくはこちら
http://www.rebootts.com/index_J.html